

～高所作業やクレーン等を使用して作業をされる事業者の方へ～

送電線・配電線には、絶対に近付かないでください！

送電線

クレーンが送電線に近接しアークが発生、感電する事故が今年度に入り、管内で2件発生しています。送電線は直接接触せずとも、近接した場合、アークが発生し大変危険です。**送電線付近においてクレーン車等で作業する場合は、東京電力PGまでご連絡**をお願いします。

配電線

配電線近くの建設作業で、クレーンフックや足場が配電線に接触、感電する事故が今年度に入り、管内で2件発生しています。

配電線付近で作業を行う場合は、東京電力PGまで、防護管設置等の依頼をお願いします。
また、万一、**クレーンフック等が配電線に引っかかってしまった場合も、東京電力PGまでご連絡**をお願いします。

【東京電力PGホームページ】

<http://www.tepco.co.jp/pg/electricity-supply/operation/for-safety.html>

① 送電線における事故事例

重機レンタル会社の作業員が会社敷地内送電線（66kV）線下において、返却された高所作業車の動作確認のため、バケット内で自ら操作を行った。その際、送電線に接近するまでアームを延ばし感電。右腕熱傷Ⅲ度等の負傷となった。



② 配電線における事故事例

建築現場において、建設会社所有のクレーンのフックが高圧配電線（6.6kV）に引っかかった。その後、作業員が配電柱に昇柱し、フックを取り外そうとした際に感電。全治約3ヶ月の電撃傷を負った。

